

特 別 講 演

大 和 ・ 河 内 の 古 道

大阪市立大学名誉教授 文学博士 直 木 孝次郎
岡山大学文学部教授

Kojiro NAOKI

は じ め に

近年、日本古代史では、古道の研究が盛んになった。いうまでもなく古道は交通・経済とかかわりが深く、従来からも交通史・経済史の面からの研究が行なわれていたが、古代の道路に関していうと、管見のかぎり、1966年12月から開始された藤原宮跡の発掘調査が、古道研究の盛行をもたらす契機になったと思われる。というのは、この調査に関与した岸俊男氏が、藤原京城の再検討を行ない、横大路・下つ道・中つ道の三道が、藤原京の北・東・西の限界をなすことを明らかにしたからである。

他方、服部昌之氏や足利健亮氏ら人文地理学者の研究もめざましいものがあり、また条里や考古学の研究者によってもすぐれた成果がもたらされている。

そのすべてを紹介・論評することは私の能力をこえるが、それらの成果にもとづき、古代の政治・経済の中心であった大和・河内における古道の実態とその特色について略述する。

史 料 （日本書紀その他）

1. 神武前紀 戊午年

3 月 10 日、至河内国草香邑青雲白肩之津。

4 月 9 日、步趣竜田、而其路狹嶮、人不得並行。乃
還更欲東踰胆駒山、而入中洲。

2. 仁徳 14 年、是歲

作大路於京中。自南門直指之、至丹比邑。

3. 仁徳 58 年

5 月、当荒陵松林之南道、忽生兩歷木。挾道而末合。

4. 履中前紀（仁徳 87 年）

太子到河内国埴生坂。……則急馳之、自大坂向倭。

至于飛鳥山、遇少女於山口。……

大阪に遇ふや少女に道問へば

直には告らず当麻路を告る

5. 雄略 14 年正月

是月、為吳客道、通磯齒津路。名吳坂。

6. 推古 21 年

11 月 …… 又自難波至京置大道。

7. 大化 5 年

3 月 24 日、……大臣（蘇我倉山田石川麻呂）乃將二
子法師与赤猪、自茅渟道逃向於倭国境。

3 月 25 日、……將軍大伴連等、及到黑山、土師連身、
采女臣使主麻呂、從山田寺馳来告曰、……。

8. 天武元年

7 月、……初將軍（大伴）吹負、向乃樂至稗田之日、有人曰、自河内軍多至。則遣坂本臣財……、率三百軍士距於竜田。復遣佐味君少麻呂、率數百人屯大坂。遣鴨君蝦夷、率數百人守石手道。

9. 天武元年

7 月、……時東師頻多臻。則分軍、各當上中下道而屯之。唯將軍吹負、親當中道。於是、近江將犬養連五十君、自中道至之、留村屋。……三輪君高市麻呂、置始連菟、當上道、戰于箸墓。

10. 日本靈異記、下卷 16 話

宝龜元年庚戌冬、12月23日之夜夢見。從大和国鰐聖德王宮前之路、指東而行、其路如鏡、広一町許、直如墨繩。

11. 続日本紀、延暦 8 年

10月17日、散位從三位高倉朝臣福信薨。福信武蔵国高麗郡人也。……小年隨伯父背奈行文入都。時與同輩晚頭往石上衢、遊戲相撲。

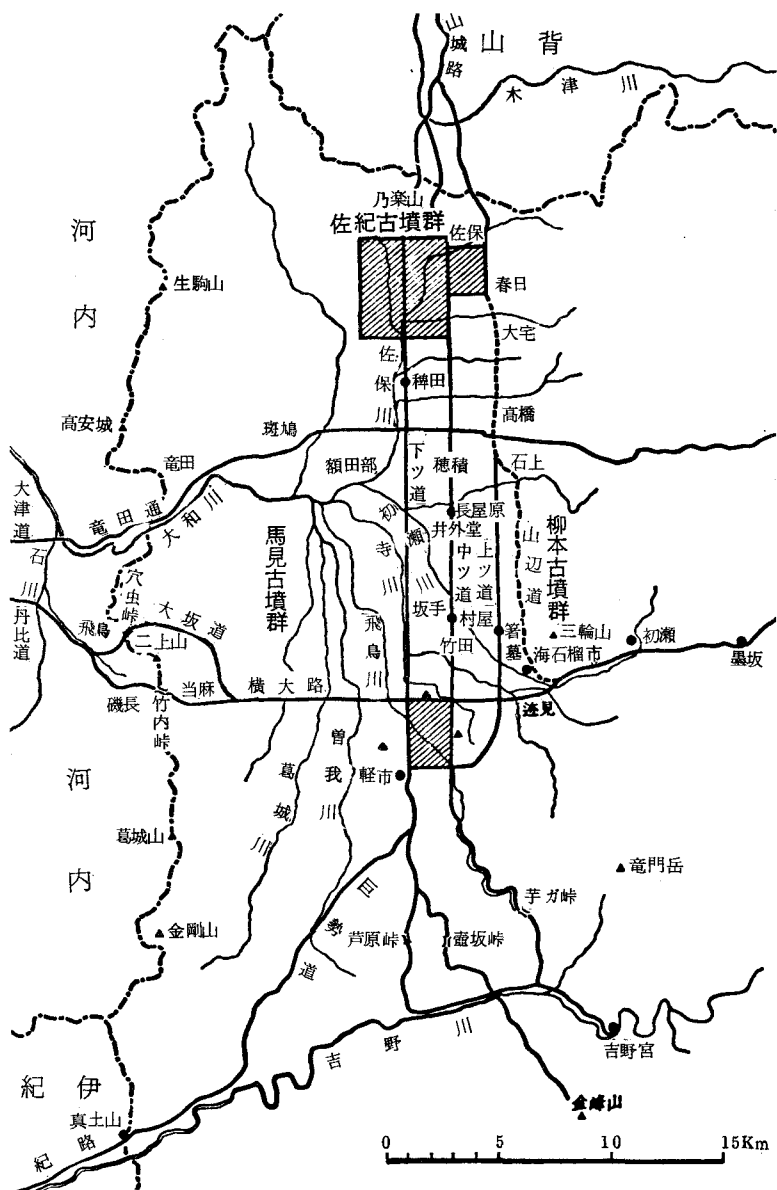


図1 大和における古道要図(原図・岸 俊男)

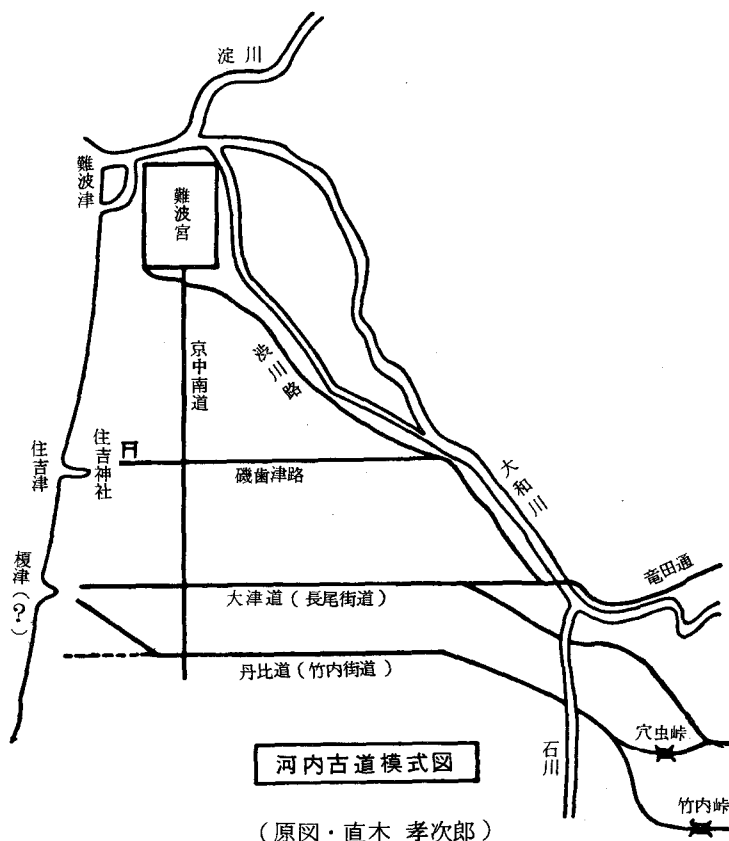


図 2

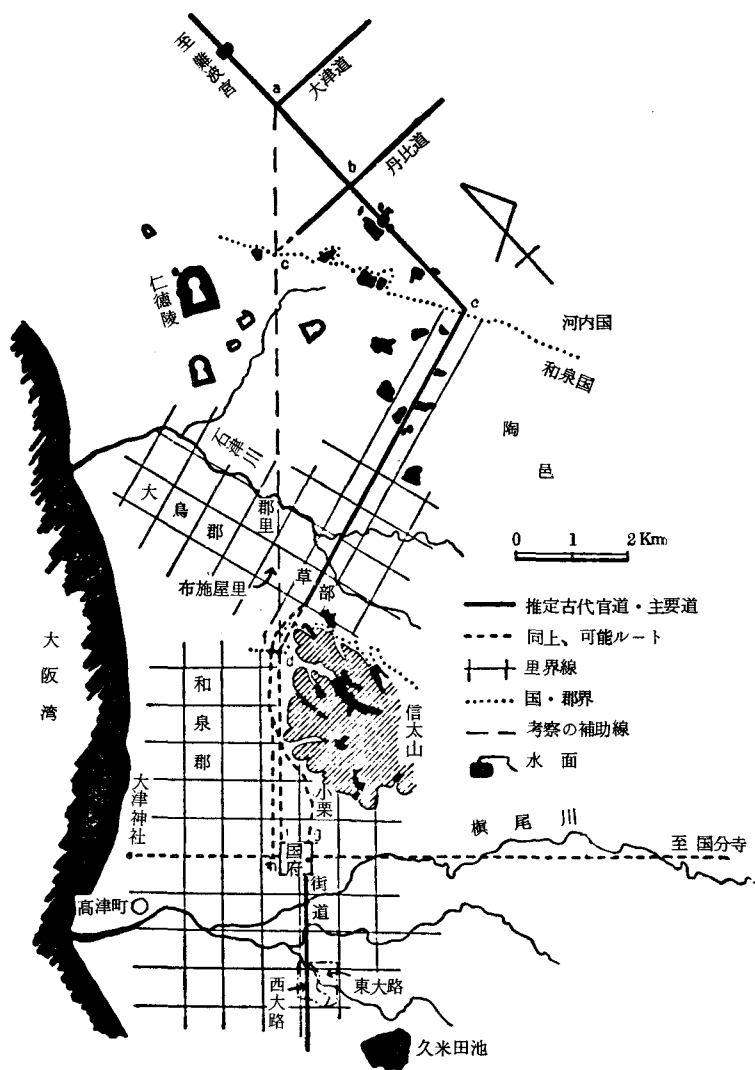


図3 和泉の古道
(原図・足利健亮)

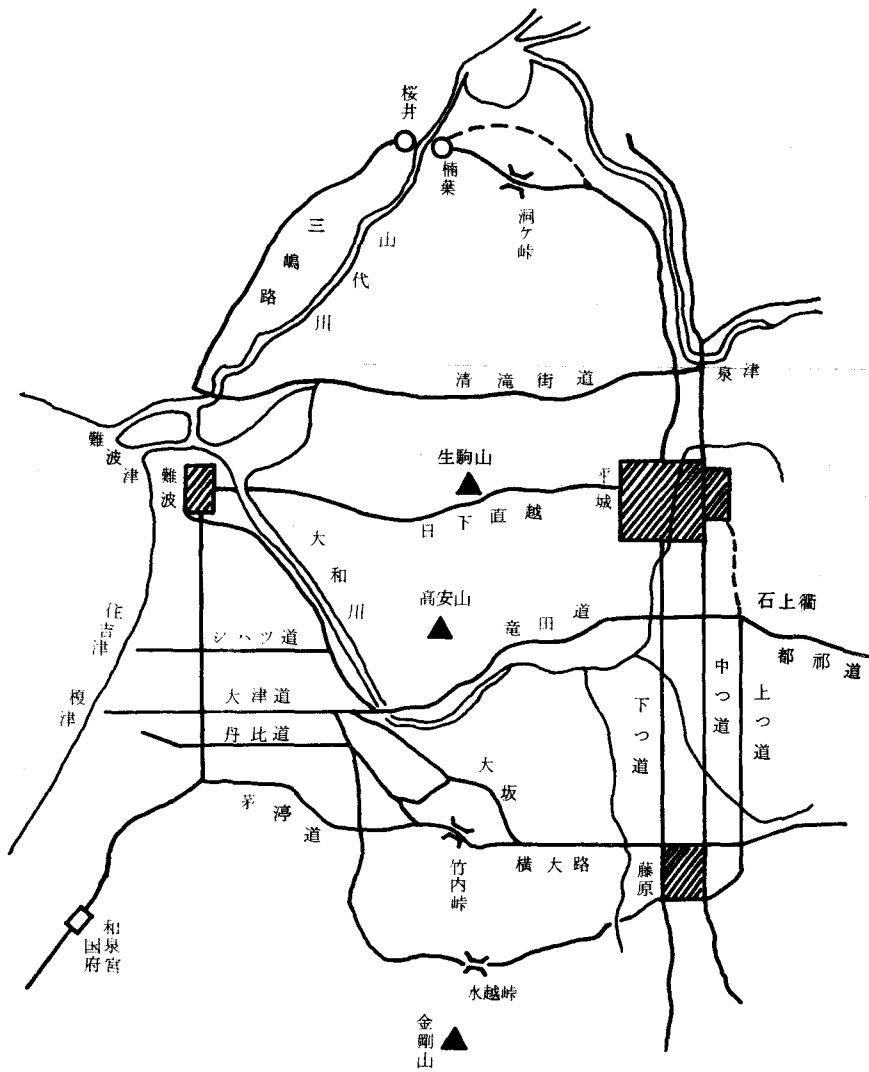


図4 大和河内古道略図（原図・直木 孝次郎）